

職員紹介

Q1. 財務専門官の志望動機

Q2. 業務内容（実際に皆さんがどんな仕事をしているか教えてください）



総務課
轟 菜海
Todoroki Nami

国と地域の架け橋として、スケールの大きな仕事でありながら地域に寄り添った仕事ができる点に魅力を感じ、志望しました(地元が大好きなので!)。また、財務専門官は様々な業務に携わることができるため、多くの経験を積むことができますし、業務を続けていく中で、自分に合った分野を見つけることができる点にもとても魅力を感じました。

当局が行う地域連携・地域貢献に関する業務を行っています。例えば、地方公共団体に対する説明会や地域課題を議論する会議の企画・運営などです。日程調整や会場予約等のほか、実際に地方公共団体に足を運び、担当者から地域課題の聞き取りなども行っています。



経済調査課
中屋 奈津季
Nakaya Natsuki

春に行われた説明会をきっかけに、財務専門官という仕事に強い興味を持ち、国と地方の架け橋になりたいと思い志望しました。また、財政・金融・国有財産・経済調査といった幅広い業務に携われ、働きながら自分の適性にあった業務を見つけていける、ということにも魅力を感じました。

経済調査課では、各種指標やデータ、企業へのヒアリング等をもとに北陸の経済動向を分析し、資料を作成、公表しています。毎月行う調査や、3か月に1回の周期で行う調査があり、どの調査も企業に対してヒアリングを行っています。ヒアリングは直接企業へ伺ったり、電話やWeb等も使ったりして行っています。



金融監督第二課
芦井 唯人
Ashii Yuito

財政・金融という社会の基盤となる部分を支えることで地域に貢献できるということが、地域活性化を軸に就職活動をしていた私にとって、とても魅力的に感じたからです。また、本省庁へ出向する機会もあり、自由なキャリアデザインが描ける点にも惹かれました。

信用金庫や信用組合を監督する業務をしています。係員は、金融機関から提出のあった届出や報告をチェックし、金融庁へ報告するというのが主な業務です。また、金融機関に対するヒアリングも行っています。



金融監督第三課
鍛治 和沙
kaji Kazusa

財政、金融、国有財産などの面から専門的に地域に貢献できる点や、働いている中で自分の適性に合った分野を見つけることができる点に魅力を感じて志望しました。また、説明会で話してくださった職員の方たちもとても温かく、「ここで働きたい」とだんだん思うようになりました。

証券会社や保険会社の監督をする業務をしています。提出された届出を受理し、内容をチェックしたり、金融庁に報告したり、ヒアリングを行ったりしています。最近では、商工会議所や市役所への訪問に同行することもあり、経験できることもだんだん増えてきてワクワクしています。



Q3.職場の印象・雰囲気、入局前後のギャップなどもあれば

一言でいうと、とてもアットホームな職場です。入局前は、静寂の中淡々と業務をこなすイメージでしたが、実際は職員同士が活発に意見を交わしながら楽しく業務を行っています。また、本当に優しい方が多く、疑問点がある場合は丁寧に教えてくれますし、日頃から様子を気にかけて、声をかけてくださるため、1年目の私としてはとても働きやすく最高の職場です。

本当に皆さん優しく、アットホームな雰囲気の職場です。業務は難しいこともありますが、困ったことや聞きたいことがあったら上司や先輩方が優しく丁寧に教えてくれるため、1人で抱え込んで不安になってしまう、というような心配はありませんでした。課内は静かな時もあれば、雑談等をするときもあり、とても居心地が良いです。

入局前から説明会等で、職場の雰囲気が良いという話を聞いていましたが、まさにその通りで、とても上司に相談しやすい環境だと思います。また、休暇もとりにややすいため、自分の時間を充実させることもできます！

みなさんととても優しく、わからないことは丁寧に教えてくれるので質問しやすいです。静かに業務に向かうときも、にぎやかなときもあり居心地よく感じています。入局前は真面目でちょっと固い空気ななかで仕事しているのだろうなと思っていましたが、思ったよりも温かくやさしい雰囲気でほっとしました。

Q4.財務専門官採用試験アドバイス

筆記試験に関しては、自分に合った勉強法を見つけることが一番重要だと思います。私の場合は、勉強時間を1日6時間と決めて、それを毎日行うことを徹底していました。面接試験に関しては、本番を想定した練習を行うことが一番効果的だと思います。自分の言葉で話すことが大事なので、学校のキャリアセンターや県の就職支援窓口等で練習すると良いと思います。また、表情も大切ですので、日頃から笑顔を意識してみましょう！

専門科目は前もって勉強していたのですが、模擬試験を受けて基礎科目が全然できない…！と気づき、後から慌てて勉強しました。専門・基礎どちらも模擬試験を何回も受け、しっかりと復習することが力になったと感じています。点数が取れず落ち込むことも多かったです、「模擬試験で間違えてよかった」マインドで受けることが大切だと思います。

筆記試験では、解いた問題を翌日復習することで記憶に残るようにしていました。また、個人的には、いろいろな分野に手を付けるよりも、自分が確実に解ける分野を作ることが大事かなと思います。面接については、覚えたことをそのまま話すのではなく、軸をもってそれに基づいて話すことで面接官により深く自分のことを知ってもらえると思います。

筆記試験対策は何度も同じ問題集を繰り返すことを意識していました。択一の対策をしっかりすることで記述試験もできるようになると思います。試験が近づいたら過去問を解いて時間配分にも気を付けるようにしました！

Q5.合格を目指す受験生へのメッセージ、アドバイス

公務員試験は長丁場で、民間企業の友達と比べて気持ちが落ち込んでしまうこともあるかと思います。不安な気持ちになる時間があるのなら、その時間を筆記試験や面接練習にあてて、他の就活生と差をつけちゃいましょう！また、試験対策と同じくらいリフレッシュすることも大切です。自分の時間を大切に、楽しみながら就活しちゃいましょう。自分を信じて頑張ってください！

試験や面接は大変で、心身ともにつらいことが多いですが、終わってみたら一瞬で「あのとき頑張ってたかった！」と思える日が必ず来ます。未来の自分が後悔することがないように、友達と遊んだり、散歩をしたりと息抜きをしながら、思いっきりやりきってみてください！応援しています。

公務員試験は長期間の筆記試験の勉強と、やっと筆記試験が終わったと思ったらすぐに面接の対策をしなければならぬのでモチベーションを維持するのが大変だと思います。しかし、合格後にはとても嬉しいと開放感があるので、粘り強くいきましょう。たまには休んで、貴重な大学生活も楽しんでください！

科目が多く試験も遅めの時期で、焦ることもありつらいと思いますが、たまには遊びにいったりリフレッシュすれば最後まで頑張ることができると思います。たくさん説明会や職場見学などに参加してみると、意外な発見があって楽しいのでおすすめです！健康に気を付けて頑張ってください。



職員紹介

Q1. 財務専門官の志望動機

Q2. 業務内容（実際に皆さんがどんな仕事をしているか教えてください）



管財総括第二課
小林 琉唯
Kobayashi Rui

地域に密着しつつ、専門的な業務ができるところに惹かれ志望しました。国の機関でありながら地域と密接に関わることができる点は財務専門官ならではの魅力だと感じました。また、財政・金融・国有財産など幅広い分野があり、経験を積んだうえで自分に合った分野の専門性を高めることができる点にも惹かれ志望しました。

国家公務員宿舎の維持管理業務をしており、主に宿舎の入退去・修繕業務を担当しています。デスクワークだけでなく現地調査などで外出する機会もあり、毎日楽しく働いています。また、エリアマネジメント業務では国公有財産の最適利用や地域活性化を目指し、地方公共団体へのヒアリングを行っています。

統括国有財産管理官

七浦 昂太

Nanaura Kouta



最初は、「財務専門官」という名前に興味を持ちました。調べていくうちに、国と地方の架け橋として働けること、本省庁への出向や幅広い業務によって様々な知識や経験を積める点に魅力を感じ、志望しました。

普通財産の管理処分に係る業務を担当しています。主に、委託業者に対する未利用国有地の管理指図や、期間入札での国有地の売却を行っています。また、エリアマネジメント業務では、地域との連携強化を目指して、プラットフォームの開催に携わっています。

富山財務事務所理財課

小納谷 良聖

Konaya Ryosei



金融や国有財産、財政等といった幅広い業務を経験していく中で、自分が十分に活躍できる分野を見つけて専門性を高めたいと考えてきたからです。また、本省庁への出向などによって、財務局の業務だけではなく様々な経験を積むことができる点にも魅力を感じました。

県内の信用金庫や信用組合、貸金業者、証券会社等の金融機関の監督業務を行っています。金融機関からの届出を受理し、内容を精査したり、財務内容や事業者支援についてのヒアリングを行ったりしています。また、金融経済教育として地域の学校に行き、講演を行うこともあります。



福井財務事務所管財課

長谷川 楓

Hasegawa Kaede

国という大きな立場から、地元である北陸地域の経済発展に貢献したいと考え、志望しました。北陸3県に加え、財務省や金融庁に出向して働く選択肢があることも魅力的だと感じました。

国家公務員宿舎の維持管理をしています。主な業務は宿舎の貸与手続き、修繕工事の発注、宿舎の現況把握です。また、福井財務事務所内の若手職員で構成されるPTでは、地方創生に向けた活動に取り組んでおり、地方公共団体の若手職員と現状の課題や取組について意見交換を行っています。



Q3.職場の印象・雰囲気、入局前後のギャップなどもあれば

難しい業務をこなしている賢い人がたくさんいるところというイメージでしたが、明るく温かい雰囲気の職場です。分からないところはもちろん些細な疑問にも優しく教えてくれる先輩ばかりで、とても働きやすい職場だと感じています。また、業務中はずっと静かというわけではなく、相談しながら業務を進めているため話しかけやすく、安心して働いています。質問しやすい点や休暇が取りやすい点など入局前後での良いギャップはたくさんありますが、マイナスなギャップはありません。

とても明るく、風通しの良い職場です。私の所属する部署では別の課と連携して行う業務も多いのですが、その都度、風通しの良い職場だと実感しています。また、公務員=デスクワークをイメージしていたので、外出の多さには驚きました。

分からないことがあれば、何でも教えていただける環境ができていますので、スムーズに業務が進められます。課全体としてワークライフバランスを重視する意識があるため休みが取得しやすく、プライベートの時間を充実させることができます。

課内では、1日を通して職員間での意見交換が活発に行われています。事務所は人が少ない分、困った時は課を超えて相談に乗ってくれることもあり、とても居心地が良いと感じています。1年目であっても、休暇やフレックス制度が利用しやすい環境が整っていることは、良い意味でギャップがあると感じました。

Q4.財務専門官採用試験アドバイス

過去問を中心に勉強をしていましたが、時間内に解く練習をするために模擬試験をたくさん受けていました。教養試験は特に時間が足りないと思うので普段から時間を意識しながら勉強することをおすすめしたいです。面接対策は大学のキャリアセンターに頼り、志望動機の添削や模擬面接などをしていただいていた。回数を重ねるごとに上手く話せるようになったので、筆記試験勉強の合間に面接対策も進めておくこと自信をもって面接試験に望めると思います。

特に変わったことはせず、憲法や民法、経済学などの基礎的な科目を中心に過去問を解いていました。面接は練習や暗記はほどほどにして、自分の言葉で話すようにしました。とにかく入局したいという思いをぶつけるのが良いと思います。

勉強のスケジュールとしては、大学3年の冬までには勉強を始めた方がいいかなと思います。問題集は試験科目が多く大変だと思いますが、主要な科目であれば少なくとも3周ぐらいは周回した方がいいと感じました。

時間配分の練習や、当日の雰囲気を模擬試験でシミュレーションしておく、当日も緊張せずに試験に臨めると思います。面接練習は大学のキャリアセンター等を利用して、とにかく数をこなしていました。

Q5.合格を目指す受験生へのメッセージ、アドバイス

たくさんの科目があり勉強ばかりの毎日に精神的にも疲れるときがあるかと思います。休むことに抵抗があるかもしれませんが、たまには休んで友達とごはんに行ったり電話をしたり、心身の健康を大切にしてください。長期戦ですが必ず終わりがくるので、無理せず自分のペースで最後まで頑張ってください。みなさんが第一志望に合格できることを祈っています！

公務員試験は長丁場ですし、やる気がない時や、伸び悩んでストレスがたまることもあるかと思います。そんな時はリフレッシュして、勉強にメリハリをつけると良いと思います。気持ちを切らさず頑張ってください。

公務員試験は民間の就活と異なり、長丁場になりますが、同じ公務員試験に挑戦する友達などと交流を深めるといい刺激をもらえてモチベーションを維持できると思います。途中できついなと思ったり、直前になって焦ったりすることもあるかもしれませんが、自分のペースで最後まで頑張ってください。

試験勉強もちろん大事ですが、合格することが目的にならないように仕事内容についてもできるだけ調べてみるとよいと思います。勉強に疲れた時は、この採用パンフレットを見てモチベーションを上げて頑張ってください！

